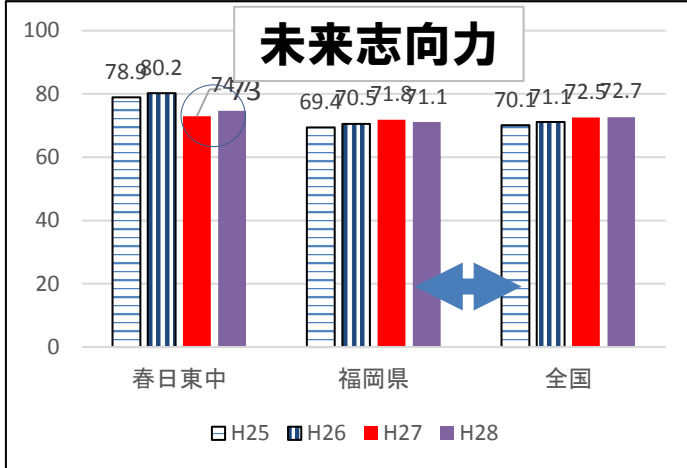


質問

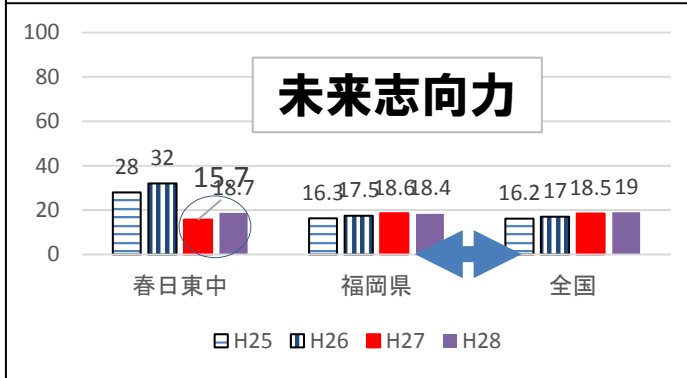
質問事項

すてもの
か、うれし
れしかつ
たこと
がやり
遂げま



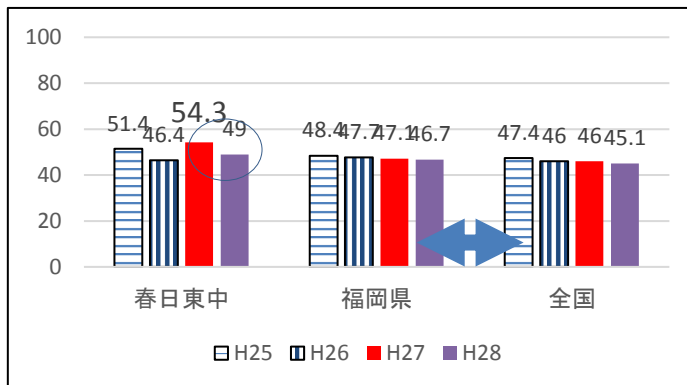
「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」というのは「達成感」の経験の有無を尋ねる問題である。本校研究部も取り組んでいる「目標を持つ」→「努力する」→「目標を達成させる」(達成感を味わう)というサイクルの徹底が不十分であると考えられる。毎日の地道な指導が重要になってくる。

す恐難
かれし
ないこ
とでも
挑戦し
て失敗
を



社会に出た時に多くの若者が行き詰るのは、困難や失敗を恐れて挑戦をしないからではないだろうか。県と全国がほぼ同じ値であることから、全国的な問題であると考えられるが、これこそが「生きる力」であり、本校が目指す「人間力」につながると思う。しかし8割の子どもは挑戦していない。

い将来
ますか
の夢や
目標を
持って



本校が目指す「人間力」のうちの「未来志向力」で、「将来の夢や目標」を描かせて、それに向けて努力させねばならない。県や全国とも差がないところが課題である。全教育活動で、改善を図る必要がある。学活での進路学習の充実、啓発的な体験の工夫が必要である。

